

○ 対策集例（地域用）

C. あなたの地域における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対応策の具体例
1. 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ◆警察等と連携し、警戒パトロールを実施する。 ◆街路灯の整備を行政の担当部署に要望し、明るい道路の実現を目指す。 ◆地域内の一声運動を実施し、不審者への警戒態勢を強める。 ◆不審者に気付いたら、動向を注視する。 ◆放火監視機器等の導入を行政の担当部署に要望し、放火防止に役立てる。 ◆放火監視機器設置済の表示を出す。 ◆一戸一灯運動を実施する。
2. 敷地・建物への侵入防止	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き家等、不審者の進入防止対策について、地域ぐるみの取組みを行う。 ◆警察と連携し、パトロールを実施する。 ◆放火火災防止のパンフ・ちらし・立て看板等の作成配布を行う。 ◆地域に対する広報資料により、放火火災防止に対する警戒心を高める。 ◆侵入監視センサー等の機器導入について、自治会・行政機関の担当者が連携して促進を図る。 ◆放火監視機器等が作動した場合の初動対応について、広報活動を通じて地域住民に周知しておく。 ◆建築工事中の建物への不審者の侵入等に注意する。
3. 可燃物等の整理	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域内のごみ出しのルールを徹底させる。 ◆定期的にごみ集積場所の清掃を行う。 ◆お互いに可燃物を放置しないよう、地域内に呼びかける。 ◆工事材料や廃材等可燃物の整理整頓について、工事責任者に指導する。 ◆放火火災防止の観点から、警察・道路管理者等との協力により放置車両の移動や違法広告物の撤去を徹底する。 ◆郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。 ◆枯れ草等の出火危険場所は、消防・自治会が協力して関係者に指導する。 ◆不法投棄されたごみについて、清掃事務所等へ撤去を依頼する。
4. 火災の初期対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆警察・道路管理者等との協力により放置車両の移動や撤去を徹底する。 ◆家庭用消火器の設置を推進するよう住民に広報する。 ◆不法駐車禁止等の立て看板等を設置し、消防活動阻害要因の排除を呼びかける。 ◆消火器の使用方法や通報連絡の手順について、自治会等の訓練を通じて住民に指導する。 ◆地域の実情に応じて、街頭消火器の設置を行政に要望する。 ◆消防訓練や講習会により、近隣協力体制の強化を図る。
5. コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆放火火災予防における地域協力の重要性について、住民の認識を高める。 ◆地域でセミナーや行事を積極的に企画し、地域住民の連携を深める。 ◆旅行等不在時の用心のため、お互いに近隣への声かけ運動を習慣づける。 ◆不審者の動向を注視する等、地域一体的な警戒心を高める。 ◆自主防災組織や町内会・自治会等の連携による放火火災予防対策への取組みを強化する。
6. 住民同士の協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆連続放火が発生している場合、消防車のサイレンが聞こえた際、一斉に照明を点灯したり、窓を開けたりする。 ◆放火火災予防における地域協力の重要性について、住民の認識を高める。 ◆地域でセミナー等を積極的に企画し、地域住民の連携を深める。 ◆旅行等不在時の用心のため、お互いに近隣への声かけ運動を習慣づける。 ◆不審者の動向を注視する等、地域一体的な警戒心を高める。 ◆自主防災組織や町内会・自治会等の連携による放火火災予防対策への取組みを強化する。 ◆発災時対応訓練や講習会を積極的に実施し、近隣者による連携体制を強化する。 ◆自治会等メーリングリストで注意喚起メールを出す。